

施策名「科学技術基本計画の策定・推進」

解決すべき
問題・課題

我が国は、地球規模課題への対応や、レジリエントで安全・安心な社会の構築などの問題をはじめ、少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題といった多岐にわたる社会課題を抱えている
また、脱炭素技術として原子力の最大限の活用が求められ、多様な分野への放射線利用が期待されると同時に、核拡散へのリスクに係る懸念も高まっている。
このような状況につき、科学技術・イノベーション政策や原子力政策に対し、社会や国民から高い関心が寄せられている。

事業の概要

(アクティビティ)

科学技術・イノベーション会議が、社会的に不可欠で、日本の経済・産業競争力にとって重要な課題、プログラムディレクター (PD) 及び予算をトップダウンで決定

【インプット】

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)
予算額：280億円

ガバナリングボードが、領域を設定し、予算の配分等に強い権限をもった領域統括の下、統合イノベーション戦略に基づく各種戦略の実現に必要な施策を、トップダウンで決定

【インプット】

官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM)
予算額：100億円

原子力委員会の開催

原子力に関する活動に係る情報収集・分析・発信等

【インプット】

1.3億円

活動実績

(アウトプット)

課題解決に必要な技術開発等の推進

【参考指標】

課題評価WGでの社会実装に向けた評価の結果

官民における研究開発の推進

【参考指標】

BRIDGE評価委員会 (令和4年度まで：PRISM審査会) での評価の結果

原子力委員会における原子力利用に関する検討等の取組及びそれらの取組に関する情報の公開

【参考指標】

原子力委員会の議事録の公表件数

中目標

(アウトカム)

戦略的・国際的な知財・標準の活用が推進される、先進的な技術が社会に実装される。

【測定指標】

追跡評価WGでの評価結果

イノベーション力の強化

施策目標

(インパクト)

・我が国の社会課題の解決に向けた研究開発の推進、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ (wellbeing) の向上
・社会が持続可能性と強靱性を備え、国民の安全・安心を確保

我が国の原子力利用に関する行政の民主的な運営が確保される

※ 予算は「科学技術イノベーション創造推進費」を充当。

※ インプットの内容は令和3年度のものです。